



自分を輝かせるための5つの秘訣



校長 赤松 弘一

夢を持つことの大切さについて話しましょう。

『夢とは「そうになりたい」という憧れの自分である。夢を実現しようと努力し、近づいていくとき、自分に誇りを持つことができる。夢は必ずしも実現できるとは限らない。しかし、それに向かって自分を励まし、苦しみを乗り越えていくことが尊いのである。そしてその時大きく成長するのだ。夢を持たない、夢をなくした人はやる気をなくし、信じる気持ちをなくし、誇り（プライド）をなくし、平然と悪事を為すことになる。夢があり、誇りがあるからこそ、理想に向けて自制心が働くのだ』

皆さんは夢を持っていますか、はっきりとした具体的な夢ではなくても、「自分には何かできるのじゃないか」「いつか自分の力で幸せに生きていきたい」でもいいのです。魚住東の先生は、そんな夢のある生き方をみんなにしてほしいと思っています。どうすれば夢をもち、自分を輝かせられるのでしょうか。昨年1年間をかけて先生方は協議し、次の5つのことを身に付けることが大切だという結論に至りました。

★自分を大切にでき、自分に自信が持てる生徒 ⇒ ①自己肯定感

★他者を大切にし、協働できる生徒 ⇒ ②他者理解・③協働

★自ら考え、挑戦できる生徒 ⇒ ④問題解決能力・⑤チャレンジ力

つまりこの5つの力を身に付けるということは

①自分に誇りを持ち、よりよく生きようとし、②共に生きる人を認め、大切にし、③支え合いながら、共に力を尽くし、④困難に背を向けず、乗り越えていくための手段を自分で考え、⑤失敗しても繰り返し挑戦していく。ということです。

これは自分一人でやろうとしても、なかなか大変です。ついつい易きに流れて、弱い自分に負けてしまいます。自分の頑張りを認めてくれたり、間違いを指摘してくれたり、そして励まし合える仲間がいて、弱い自分に負けずに頑張れると思います。

東中は夢を追うために勉強する場です、そして生徒と先生が共に支え合い、共に成長していける学校にしていきたいと思っています。

学ぶということは、知識を頭に入れるだけではなく、実際に社会に出て学んだことを活かして行動できて初めて意味を持ちます。そのためには学びは受け身ではなく、自主的に自発的に学ばなければ身に付きません。その学びは苦痛ではなく楽しいはずです。幸せになりたいと思わない人はいないでしょう。その目標にまっすぐ続いている道は「学ぶこと」です。①から⑤のキーワードを頭において挑戦していきましょう。